

「森は生きている」 1
日本の森



私たちが今いるのは、長野県蓼科高原の中にある夏の別荘、1500mの森の中です。私は留学生たちに日本語や日本文化を指導している大学教授、ターニャは来日半年のロシアからの留学生です。

「先生、涼しい！東京から来ると別の国に来たみたい」とターニャ。連日30度を超える都会のコンクリートジャングルから、私たちは僅か3時間弱でどこまでも森が広がり小川のせせらぎ、小鳥たちのさえずりが聞こえる別荘地に着いたのです。

日本の国土の67%は森が占めている、数字では知っていても、「森に行ったことがない」という日本人の声をよく聞きます。まして留学生たちは、ほとんど都会・小都会で生活し、日本を理解したつもりになって帰国してしまいます。

実は日本の森は南はマングローブの森が続く沖縄西表島、北はエゾマツの林が続く北海道、そして温暖な日本の大部分に広がる広葉樹、ブナ、ナラ、クリなど様々な姿の森が日本の環境を守り、日本人そのものを支えてきたといっても過言ではないのです。

しかし、日本は明治時代以来、近代化、都市化、合理化の道をたどることで「豊かな社会が築ける」と信じてきました。その結果、物質的には豊かになり、国内・海外どこへでも飛行機や自動車、鉄道で簡単

に行けるようになりました。

しかし、残念なことに「森に行く手段」は遠のきました。なぜなら天然林の多くは過疎の村の近くにあることが多く、飛行場はおろか鉄道てつどうの駅えきも高速道路こうそくどうろも森の近くにはないからです。

私が蓼科の森に来るには新宿から特急電車とっきゅうでんしゃで2時間、茅野駅ちのえきに着いてからはリゾートの森に行く一日3本しかないバスで茅野の街まちを抜け、田園でんえんの広がる里山さとやまを抜けて、ぐんぐんと登り、やっとたどり着くのです。

この別荘地べつそうちは「自然との共生きょうせい」を念頭ねんとうに開発されたもので、「森の生き物たちの中に人間が暮らさせてもらう」のです。ですから木は最小限さいしょうげんだけ「切らせてもらう」、道路どうろは最小限さいしょうげん、車くるまがすれ違える幅ちがだけ「木を切きって、道みちをつくらせてもらう」、鹿しかやうさぎ、いのししが道路どうろを横切よこぎる時は「森の間借り人まがりにん」である人間にんげんは待つのが原則げんそくです。

こうして660万まんへいほうメートル m^2 、東京ドーム140個分こぶんもの豊かな森もりは、「人間が使つかわせてもらっている」ことで、手入れていされ、天然林てんねんりんの形かたちを保たもっています。

今大切なこと、それは「天然林てんねんりん」を守り、手入れていをし、生態系せいたいけいを守まもることで、一度伐採いちどぼっさいして二次林にじりんを植うえても、そこでは生態系せいたいけいは崩れ、鳥や動物とり どうぶつも当分とうぶんの間増あえません。「天然林てんねんりん」を維持いじできなくなっている過疎の村かそむらにもっと助成じょせいをしていかないと、日本の森にほんもりは消滅しょうめつの一途いっとうをたどり、生態系せいたいけいも崩れ、コンクリートやアスファルトに覆おおわれた島国しまくにになってしまうかもしれないのです。

注1) 国土の67%が森林しんりんといっても、その40%は人工林じんこうりんの針葉樹林しんようじゅりんであり、それらは木造建築もくぞうけんちくや木造の内装もくぞうないそうを多くおおくすることで、放置ほうちされた人工林じんこうりんにも手入れていされることになる。

注2) 「自然保護しぜんほご」：プリザベーションほうち（放置）、プロテクションぼうえい（防衛）、コンサベーションほぜん（保全）、リステレーションふくげん（復元）、リハビリテーションさいせい（再生）。地域ちいきによって目的もくてきをもって、森もりの維持いじを行うべきで、そのためには人出ひとでもいるし予算よきんを必要ひつようとする。国家的なプロジェクトこっかてきが必要ひつようである。

(1320字)

(2020.12 Written by Mizue SASAKI)

<参考資料>

- ・『森の旅 森の人』世界文化社



この作品はクリエイティブ・コモンズ表示・非営利・継承4.0国際ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場

合^{あい}は、「たどくのひろば」を出^{しゅってん}典として示^{しめ}してください。

例^{れい}) 出^{しゅってん}典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.